

# 脳 内 出 血

脳内出血とは脳の血管が切れて脳の中に出血した状態をいいます。  
右の頭部CT撮影では、側頭葉に出血し、出血部位 → が白く描出されています。

## ◆原因

脳内出血の約80%が高血圧によるもので、一般に高血圧性脳出血と呼ばれています。高血圧以外の原因として血管奇形（脳動静脈奇形、海綿状血管腫、もやもや病等）や頭部外傷、脳内の血管がもろくなるアミロイドアンギオパチーなどがあります。



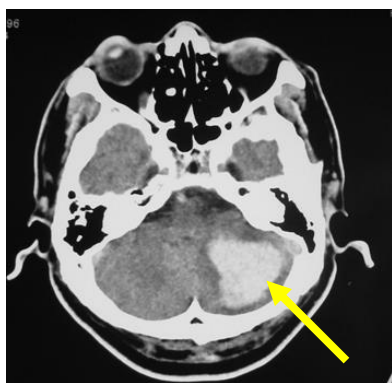
頭部CT画像

## ◆症状

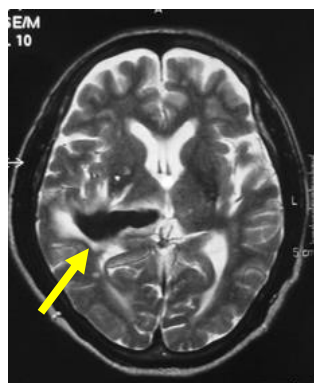
出血した**部位**、**出血量**によってさまざまな症状があらわれます。  
運動麻痺や感覚障害、意識障害、構音障害、失語など、その程度もさまざまです。

## ◆検査

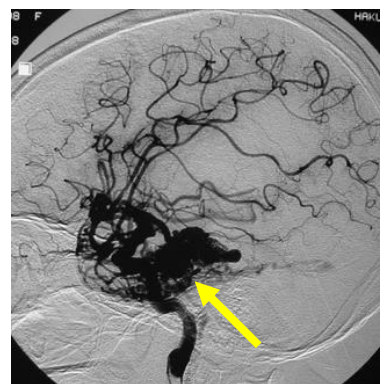
出血の部位や量、また原因を調べるため頭部CTやMRI、脳血管造影等をおこないます。



CT（小脳出血）



MRI（視床出血）



血管造影（脳動静脈奇形）

## ◆治療

基本的には内科的治療（血圧コントロール等）を行います。  
出血した**部位**、**出血量**、**出血の原因**によって手術をすることも  
あります。

手術の目的は救命、再出血の予防、あるいは症状の軽減にあります。が、  
必ずしも手術をしても麻痺などの症状が完全に良くなるわけではあり  
ません。手術には、出血部位や原因によりいくつかの方法があります。▲

- ・ **開頭血腫除去術**：全身麻酔下に頭蓋骨をはずして血腫を除去する  
方法
- ・ **神経内視鏡的血腫除去術**：前頭骨を穿頭し内視鏡を血腫内あるいは、  
脳室内に挿入し、血腫を可及的に除去します。
- ・ **CT誘導下血腫除去術**：専用のフレームを頭に装着して、手術前にCT  
で出血の部位を計測して、局所麻酔下に頭蓋骨に1つ穴を開け、  
予め計測した部位に針を刺して血腫を除去する方法
- ・ **脳室ドレナージ術**：出血によって急性水頭症をきたした場合の手術  
麻痺や言語障害に対しては、早い時期からリハビリテーションを  
開始します。

## ◆予後（見通し）

- ・ 出血した**部位**、**出血量**によってさまざまです。
- ・ 術後再出血を起こした場合は、再手術が必要なことがあります。
- ・ 抗血小板剤や抗凝固剤を内服中の方は、再出血を来す可能性が高く  
なります。

## ◆その他

- ・ 合併症・偶発性が発生した場合は最善の処置を行います。  
なおその際の医療は通常の保険診療となります。
- ・ いったん同意書を提出しても、治療が開始されるまでは本治療を受ける  
ことをやめることができます。やめる場合にはその旨を連絡してください。